

滋賀工場

1. 事業概要

住所	〒520-3211 滋賀県湖南市高松町2番1
従業員数	57名 (2017年12月現在)
敷地面積	本社工場:128,305m ² 飛地:51,577m ²
事業内容	1. 小型浄化槽、浴槽の開発・製造 2. 中・大型浄化槽の開発



主要製品



【小型浄化槽：KZ型】

【FRP浴槽】



工場変遷(沿革)

(設立年月日)

昭和45年	(1970)	工場完成 操業開始
昭和45年	(1970)	SMC法によるFRP浴槽の生産を開始
昭和46年	(1971)	SMC法によるプレス浄化槽の生産を開始
平成8年	(1996)	SMC法によるプレス小型合併処理浄化槽の生産開始
平成12年	(2000)	「ISO14001」の認証を取得
平成14年	(2002)	浄化槽及び浴槽製造における「ISO9001」の認証を取得
平成15年	(2003)	カラーベスト部門が松下電工と合併し、分社独立 (新会社名 クボタ松下電工外装株式会社 現:ケイミュー)

滋賀工場

2.環境方針

環境方針



環 境 方 針

滋賀工場は、下流に近畿の水瓶・琵琶湖を控えた湖南工業団地に立地し、快適な住生活環境づくりを目指して、屋根材及び浄化槽・浴槽等の住宅関連製品を設計・生産している。

当工場は、企業の社会的責任として環境調和型創造企業を目指し、行動指針を以下の通り定め、地域・湖国及び地球の環境保全の向上に貢献する。

1. 製品の研究・開発や製造過程、並びに物流・品質クレーム対応等、“活動”、“製品”“サービス”を対象として次の課題に取り組む。
 - ①省エネルギーの推進
 - ②廃棄物の減量化並びに資源再利用の推進
 - ③水質・大気の排出管理の維持強化
 - ④環境影響の最小化を目指した製品開発 等
2. 継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
3. 環境関連法，条例，その他の要求事項を遵守する。
4. ISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステムの構築により、環境目標を設定し、実行・評価し、改善を行う。
5. 本方針は、文書等で「当工場の全ての従業員（協力会社含む）」に周知し、全員の認識・自覚を促すことで確実に推進する。

2017年 12月 1日

株式会社クボタ 滋賀工場長

内川 隆史

ケイミュー株式会社 滋賀工場長

田中 孝明

ISO認証取得状況

平成12年 5月 「ISO14001」認証取得

平成14年 5月 浄化槽・浴槽製造における「ISO9001」認証取得

滋賀工場

3.サイトデータ(2017年1月～12月の実績)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	1,386
水使用量	万m ³	6.6

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,421
----------------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		小型貫流ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SOx	—		※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NOx	ppm		—	—	35 [※]
ばいじん	g/m ³ N		—	—	—

※旧式の小型貫流ボイラーは法規制の対象外ですが、行政よりNOx測定を義務付けされています。

排水量	合計量	万m ³	2.2	
	汚濁負荷量	COD	kg/年	—
		窒素	kg/年	—
		りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	6.0～8.5	7.8
		BOD	mg/l	30	1
		COD	mg/l	30	2
		窒素	mg/l	12	1
		りん	mg/l	1.2	ND
		六価クロム	mg/l	0.05	ND
		鉛	mg/l	0.1	ND
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
下水道		pH	最小値, 最大値	—	—
		BOD	mg/l	—	—
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	—

廃棄物排出量	t	224
再資源化率	%	97.5

VOC排出量	t	28
--------	---	----

PRTR法対象物質集計結果

単位: kg/年

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64
80	キシレン(総量)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96
240	スチレン	27,677	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
352	ジアリル=フタラート	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
354	フタル酸ジ-n-ブチル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
448	メチレンビス(4, 1-フェニレン)=ジイソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

4.環境トピックス

- ① エネルギー使用量(排出CO₂)の削減について、2017年度は構内照明(約1000灯)のLED切り替えによる省エネ改善を実行しました。また、当年度には高圧キュービクルを2施設更新し、その際には省エネトッパーランナーの変圧器を導入しております。
- ② 海外市場拡大につき、2015/10～プレス生産体制を夜間・土日連続の4組3交代に変更して、増産対応を継続しています。
- ③ 廃棄物量はその大部分を占めるプレス不良率低減策により、2017年度は浄化槽本体槽不良率0.05%(目標0.40%)を達成しました。
- ④ 全社的な火災事故リスク低減の指示のもと、リスク抽出と設備対策を推進しています。燃焼の3要素である「点火源」「酸素」「可燃物」の3要素を整理し、対策を進めています。
- ⑤ 高濃度PCB(保管物)はJESCOへの登録が2017/1に完了しました。現在処理順番待ちです。

5.環境コミュニケーション

- ① 環境月間(6月)に従業員による構内草刈りを実施しました。
- ② 社内規定の通り、年2回(1月、7月)、環境管理責任者による環境関連設備のチェックパトロールを実施しました。